

**令和4年度 第2回  
元気県ぐんま21推進会議、群馬県地域・職域連携推進協議会 議事概要**

- 日 時：令和5年3月13日（月）14時～15時30分
- 場 所：県庁28階 281-B会議室
- 出席者：元気県ぐんま21推進会議委員22名  
幹事 8名（欠席者3名）、検討部会委員9名（欠席2名）  
事務局 健康長寿社会づくり推進課長ほか11名  
（出席者合計：50名、欠席者：推進会議構成員2名）

**【配布資料】**

- ・次第（名簿・席次表・設置要領）
- ・資料1 健康増進計画「元気県ぐんま21（第2次）」の進捗状況と次期計画策定
- ・資料2 食育推進会議見直しと食育推進計画の進捗状況
- ・資料3 令和4年度事業の推進状況について  
令和4年度の取組について（県の取組）
- ・資料4 令和4年度の取組について（各所属の取組）
- ・資料5 県民健康・栄養調査の実施結果について
- ・資料6 報告・情報提供
- ・令和4年度第2回元気県ぐんま21推進会議議題に関する御意見について

**1. 開 会**

**2. あいさつ：健康長寿社会づくり推進課長**

本日は、御多忙のところ、「元気県ぐんま21推進会議」及び「地域・職域連携推進協議会」に御出席いただき、感謝する。

本日の会議は、現地会場とWEBのハイブリッド方式により開催させていただいた。

県の健康増進計画である「元気県ぐんま21（第2次）」は、今年度で10年目を迎え、本計画は国の方針により、推進期間を1年延長し、来年度までの推進となっている。

本日は次期計画策定のスケジュールや計画概要についてご協議いただくとともに、令和4年度の進捗状況や県民健康・栄養調査の実施結果など、県の主な事業内容について説明する。また皆様からも事業実施内容についてお話しいただきたいと考えている。

当会議は本県が推進する健康づくり対策について検討・協議をいただくための重要な会議であり、また、地域保健と職域保健の連携により、各施策の普及・推進をはかる場でもありますので、皆様から忌憚のない御意見をいただきたい。限られた時間ではあるが、有意義な会議となるようお願いしたい。

**3. 第1回元気県群馬21推進会議 構成員からのご意見・回答**

- (1) 健康増進計画「元気県ぐんま21（第2次）」の推進期間の変更案について  
推進期間の変更については、本県議会により議決となり、来年度末までになった。
- (2) 県民健康・栄養調査の実施について  
今年度初めて身体状況調査の健診業務を健診機関へ委託により実施したことから、健診機

関と保健所の役割について質問があった。

調査は保健所が主体となり、保健所長を班長として10月から11月に実施し、このうち身体状況調査の健診業務を健康づくり財団への委託により実施した。事前打ち合わせや当日の対応、受付、結果の確認、送付等、また、栄養摂取状況調査については保健所が対応した。実施内容については、本日の議題4で説明する。

(3) 保健等データの分析事業について

国保データと併せて、被用者保険のデータを含めた分析が必要とのことから保険者協議会との連携も検討すると良いとのことご意見があった。

今年度から群馬大学、委託 国保の健診データの分析を始めており、関係機関と連携して取組を強化したい。

(4) 令和3年度の推進状況

(5) 令和4年度取組について

(6) その他

元気県ぐんま第2次を進める上で貴重な意見をたくさんいただいた。

「G-WALK+」のインセンティブについては、群馬産業看護研究会様、健康づくり財団様、保健所長会様からご意見を頂戴した。限られた予算ではあるが、意見を糸口として県の文化機関や教育施設との連携が進んだ。今後も、企業や関係機関と連携をして進めていきたい。

#### 4. 議 事

(1) 健康増進計画「元気県ぐんま21（第2次）」の進捗状況と次期計画策定について

事務局から、資料1に基づき説明。

- ・資料1 健康増進計画「元気県ぐんま21（第2次）」の進捗状況と次期計画策定

(質疑応答)

(座長) 県民健康栄養調査の分析結果が出るのはいつ頃か。

(事務局) 6月頃にデータの分析結果が出る予定。

(座長) 「3歳で不正咬合等が認められる者の減少」悪化の原因は何か。

(事務局) コロナ禍でマスク生活により口呼吸をしても分からなくなり、その注意喚起の機会が少なくなったためと思われる。

(委員) 5ページについて「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少」が悪化している。市町村の国保で見ると直近R3年度の健診のデータによると、国保はメタボ21.1%でこの2年間で悪化している。コロナによって住民の生活習慣が変化していると思われるが、メタボの状況が悪化していることを踏まえて第3次健康増進計画を進めていけると良い。国保の取組もそれに連動すると思う。

(事務局) 承知した。

(2) 県食育推進会議見直しと食育推進計画の進捗状況について

事務局から、資料2に基づき説明。

- ・資料2 食育推進会議見直しと食育推進計画の進捗状況

(質疑応答)

(座長) 評価困難なものはいつ頃に判明するか。

(事務局) 令和6年度の調査で判明するものが多く、それ以降となる。

(座長) 朝食を全く食べない中学生の割合」が悪化した原因は何か。

(事務局) 原因が特定をできているわけではないが、前計画でもこの傾向は見られた。

**(3) 令和4年度事業の推進状況について**

**①令和4年度取組について (県の取組)**

事務局から、資料3に基づき説明。

・資料3 令和4年度事業の推進状況について

令和4年度取組について (県の取組)

- ・元気県ぐんま21 (第2次) の取組
- ・活力ある健康長寿社会実現のための「群馬モデル」の推進
- ・食育推進

(質疑応答)

(座長) G-WALK+の医療費抑制効果の算出方法を教えてもらいたい。

(事務局) 国土交通省の歩行量調査ガイドラインによる。1歩あたり0.065円である。

(座長) フレイル予防普及啓発講演に参加された方の意見や感想はどうか。

(事務局) 現在、アンケート結果を集計しているところ。来年度には結果をお伝えできる。幅広い年齢層の方に参加いただいた。

**②令和4年度の推進状況 (各所属の取組)**

●高崎市保健医療部健康課 鷲谷委員

資料4 (35ページ) に基づき説明

<高崎食育・健康フェスタ>

今年のテーマを「始めよう未来の自分へ健康貯蓄」として実施した。食育健康パネル展、関係団体による展示を行った。食生活改善推進委員の中西会長、協会けんぽ様に参加していただいている。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となった。

<市民公開講座 骨粗しょう症の予防について>

今年度は真木病院の副委員長、篠崎先生を講師として、骨粗しょう症予防をテーマに講演を実施した。参加者49名。H28年度から毎年、実施していた。R2年度は歯と口をテーマに市民公開講座を実施し、事務局の石田歯科部長が講師として実施することができた。

●地方公務員共済組合群馬協議会 富田代理

資料4 (35ページ) に基づき説明

<健康教育「ウォーキングで世界1周の旅」>

- ・共済組合としてウォーキングアプリの「G-WALK+」を活用しイベントを実施した。
- ・歩数の上位者へのプレゼントだけでなく、抽選でのプレゼントもお楽しみとして加えて実施した。他の団体で実施している内容を参考とし、世界1周を1ヶ月間で達成することを目標にし、今回は距離に換算して日本からマダガスカルまで到着した。

- ・参加者のアンケートには「寒い中、歩こうと思うようになった。」「体重の減少を意識するようになった。」「競争意識を持って取り組めたので歩数が増加した。」という声があった。
- ・上位入賞者の取組を聞かせていただき、職員へ還元した。また、「G-WALK+」の機能の活用を取り入れ、体重を入力した人から抽選でプレゼントを贈呈した。

## ●健康づくり財団 友松委員

資料4（37ページ）に基づき説明

<集団検診事業>

- ・特定健診やがん検診の受診率を高める取り組みを実施している。受診率は50%前後ということで、元々高くないところでコロナによる受診控えの状況となっている。
- ・各健診機関において、コロナ禍においても安心して受診していただけるように感染防止対策を徹底し実施した。クラスターの発生を防げている。
- ・受診率の向上対策では、民間機関のノウハウを活用して、市町村と連携して受診勧奨を進めている。特定健診は国保の保険者、がん検診は市町村と実施主体が異なるが、なるべく同じ機会に受診していただけるように働きかけている。
- ・子宮頸がん検診は若い世代の受診率の向上に力を入れている。20才以上からが対象となっている。検診のハードルを低くしていきたい。12月にはケヤキウォーク前橋ショッピングモール健診を実施した。女性の医師が対応し、夜の受診で130人、初めて健診を受けた方もいた。受診機会を増やす取組をしていきたい
- ・この他、「G-WALK+」の活用促進や、今年度はがん征圧を目指すチャリティーイベントであるリレーフォーライフも実施することができた。

### (質疑応答)

(座長) 地方公務員共済組合群馬県協議会の取組について、1人では世界一周はできなかったのか。また、上位の方にはどのような賞品があったのか。

(富田代理) 日本からマダガスカルというのは、全員で1ヶ月に歩いた距離。世界一周するには500人ほどの参加者が必要。上位5人には塩分濃度測定のスプーンを賞品として贈呈した。

(座長) 特定健診受診率の健康づくり財団としての目標はどうか。

(友松委員) 財団としての目標値という訳ではないが、(国の目標では、)目標は70%となっている。実際の検診の受診率は令和元年度で55%ほどだった。R2年度52%、受診率は70%となっているので、もっと高めていかないと行けない。協力をして高めて行ければと思う。

## (4) 県民健康・栄養調査の実施結果について

事務局から、資料5に基づき説明

### (質疑応答)

(座長) 令和3年と令和4年で同じ人に調査を行っているとのことだが、協力数が減少しているのはなぜか。

(事務局) 身体状況調査は会場に来ていただく必要があるほか、栄養摂取状況調査は食べたものを細かく記録していただくものであり、敬遠される方もいらった。

## (5) 報告・情報提供について

### ① 事務局より資料に基づき説明

- ・次期歯科口腔保健推進計画の策定について（資料 6-1）
- ・康フェスタの実施（CKD・食育）（資料 6-2, 6-4）
- ・ヘルスケアセミナー（資料 6-3）
- ・禁煙ポスターコンクール（資料 6-5）

### ② 全国健康保険協会群馬支部 齋藤委員より情報提供

<配付資料「けんぽのいっぽ」により説明>

- ・R5 年度は生活習慣病予防検診等の自己負担を見直し、38%の自己負担分を軽減し、受診環境を充実させ、健診の受診率向上に努めたい。
- ・付加健診の対象年齢について、R6 年 4 月から原稿の 40 才、50 才に加え、45 才、55 才、60 才、65 才、70 才も対象になる。
- ・R4 年度から LDL コレステロール値に着目した医療機関への受診案内を始めた。現役世代の循環器疾患の重症化予防対策として受診勧奨を実施している。
- ・今までは、血圧・血糖値に着目していたが、脂質にも着目した重症化予防対策として受診勧奨を行っている。
- ・保健事業の充実とすることで、各委員の皆様、各機関とも連携してすすめていきたい。

## (質疑応答)

(委員) 協会けんぽのチラシのデータについて、示していただけてありがたい。例えば、腎臓の健康維持においては eGFR が一つの指標となるが、こうしてデータを明示することには大きな意義がある。

(委員) そう言っていただけるとありがたい。

(委員) 地方公務員共済組合さんのイベント内で体重測定の項目があったと聞きましたが、体重測定はどのくらいの参加があったか

(委員) 体重毎日測定 28 名、週 1～2 回以上 80 名（毎日含む）だった。

## 6. 閉 会